

2025年度 慶應義塾大学 一般選抜 看護医療学部
【化学】 解答例

[1]

設問 1

あ：原子核	い：電子	う，え：陽子，中性子（※順不同）
お：電子殻	か：価電子	き：電子対 く：共有
け：アルカリ土類金属	こ：セッコウ	さ：白色 し：体積
す：硬化	せ：医療用ギプス	そ：X線造影剤 た：溶解度
ち：大きく	つ：再結晶	て：酸素 と：触媒
な：酵素	に：エネルギー	ぬ：遷移 ね：活性化
ア：6	イ：2	

設問 2

- (A) $(160/250)X$
(B) 91 g

【計算式】 $25 : (100 + 25) = (160/250)X : (200 + X)$, $X = 90.9 \cong 91$

設問 3

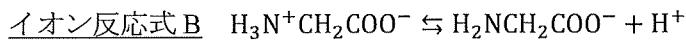
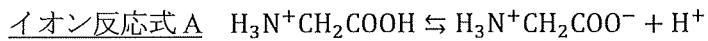
触媒を用いると、触媒を用いない場合よりも活性化エネルギーが小さい別の反応経路を通りため、同じ温度でも、遷移状態になることのできる分子が多くなるから。

[2]

設問 1

ア：炭素	イ：原子	ウ：ポリ	エ：ペプチド
オ：ジスルフィド	カ：配列順序	キ、ク： α -ヘリックス、 β -シート（※順不同）	
ケ：水素	コ：イオン	サ：システイン	シ：ファンデルワールス力
ス：高次	セ：双性	ソ：陽	タ：陰
チ：pH	ツ：電荷	テ：等電点	ト：不斉
ナ：鏡像異性体	ニ：L		

設問 2



設問 3

$$\begin{array}{ccc} \underline{\textcircled{1}} & \underline{\textcircled{2}} & \underline{\textcircled{3}} \\ \frac{[\text{H}_3\text{N}^+\text{CH}_2\text{COO}^-][\text{H}^+]}{[\text{H}_3\text{N}^+\text{CH}_2\text{COOH}]} & \frac{[\text{H}_2\text{NCH}_2\text{COO}^-][\text{H}^+]}{[\text{H}_3\text{N}^+\text{CH}_2\text{COO}^-]} & \frac{[\text{H}_2\text{NCH}_2\text{COO}^-]}{[\text{H}_3\text{N}^+\text{CH}_2\text{COOH}]} [\text{H}^+]^2 \end{array}$$

設問 4

$$x \quad [\text{H}^+] = \sqrt{K_1 \times K_2} = \sqrt{4.0 \times 10^{-3} \text{ mol/L} \times 2.5 \times 10^{-10} \text{ mol/L}} = 1.0 \times 10^{-6} \text{ mol/L}$$

$$y \quad \text{pH} = -\log_{10}[\text{H}^+] = -\log_{10}(1.0 \times 10^{-6}) = 6.0$$

[3]

設問 1

A の分子式 : C₈H₆O₂

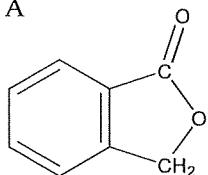
- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| あ : エステル | い : けん化 | う : カルボン酸 |
| え : アルコール | お : ヒドロキシ | か : 中和反応 |
| く : ニトロ | け : 配向性 | こ : オルト・パラ |
| | | さ : メタ |

設問 2

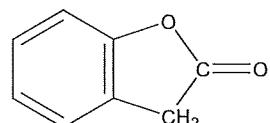
- | | | |
|----------|------------|-----------------------|
| し : ホルミル | す : 還元性 | せ : Cu ₂ O |
| そ : 68.4 | た : トレハロース | |

設問 3

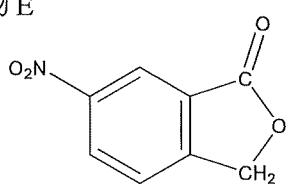
化合物 A



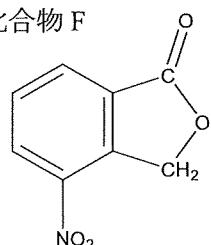
化合物 B



化合物 E

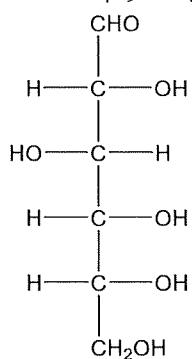


化合物 F



(※化合物 E と F は順不同)

グルコースのフィッシャー投影式



化合物 H のフィッシャー投影式

